

保護区各支部保護司会研修における講話

被害者の思いと、置かれている状況

那覇保護観察所から、犯罪被害者等の心情や置かれた立場について理解を深め、対象者の処遇に役立てたいと、ゆいセンターに各支部保護司会研修での講話の依頼があり、8か所の支部で研修に参加し、ゆいセンターの支援事例、被害者の思いや置かれている状況について講話をしました。各支部15名から40名位の参加があり、宮古と八重山支部についてはオンラインで実施しました。

- ① 8月14日(木) 北部保護区保護司会
- ② 8月23日(土) 中部保護区保護司会
- ③ 9月19日(金) 中部北保護区保護司会
- ④ 9月24日(水) 那覇保護区保護司会
- ⑤ 10月22日(水) 八重山保護区保護司会
- ⑥ 10月24日(金) 南部保護区保護司会
- ⑦ 11月7日(金) 中部南保護区保護司会
- ⑧ 12月12日(金) 宮古保護区保護司会



北部保護司会研修

参加された保護司会会長から、「今後の活動に大変役立つ内容だった。話を糧に各自の更生保護活動に活かされるものと思います」との感想がありました。

相談員の手記

質の向上研修

九州沖縄ブロック研修会（宮崎県）

初めての県外研修に参加させていただき感謝しております。

九州地区の方々と意見交換の中で、地域によっては沖縄と違った支援メニューもあり、地域の特色を活かしながら支援員ひとり一人が頑張っている姿を理解することができました。

研修内容も、法律や制度の学び等の座学だけでなく、グループワークやロールプレイも多く、より実践的な対応について学ぶことができ、また、講師の方々も経験豊富な方ばかりで、時に事例を交えてのお話も取り入れてくれて今後の支援に役立つと感じました。

直接支援のロールプレイにおいては、被害者の家族（当事者）と支援員に分かれて、いろんな場面での声掛け等の対応方法を体験しました。演じられていた職員の方々の熱意もあり、あたかもその場面にいるが如く緊張し、もし自分がその場にいたらどのような声掛けができるのか、まだ、経験が浅い私にとっては学ぶことが多いと感じました。

今後も、多くの方々と関りながら支援員として、被害者の方々のサポートができるように頑張っていきたいと思います。

犯罪被害相談員 N.T



令和7年9月 「沖縄県犯罪被害者等 ワンストップサービス センター」開所

沖縄県犯罪被害者等支援総合窓口に「ワンストップサービス機能」を追加。

犯罪等の被害者が、どこに相談すればいいかわからない場合に適切な相談機関を紹介する総合窓口にてコーディネーターを配置し、これまで以上に被害者の方に寄ったサポートが提供できるようになりました。



看板掲揚式
(9月1日)

警察学校生に対する講話

10月28日(火)、警察学校において、初任科長期課程第46期生45名に対し、沖縄被害者支援ゆいセンターの活動内容、被害者の心情等、事例を紹介しながら講話をしました。

学校生からは、

- ・被害者支援は、途切れることなく、継続的な支援が必要で、社会全体で協力して支える必要があると理解しました。
- ・被害者にとって、事件後に寄添ってくれる存在がいることが、どれほどの支えになるのかを理解することができました。
- ・被害者にどのような配慮が必要なのか、どのような言葉をかけたらよいのか、もっと学びを深めていきたいと思いました。

等の感想がありました。



警察本部長が、 新しくなった ゆいセンターへ 離任あいさつ

1月22日(木) 付けで警察庁長官官房人事課長に異動する小堀警察本部長が、広くなったゆいセンターに離任あいさつに訪れました。



沖縄県警察本部長の表敬(1月21日)